



令和6年度主な諸役

総務財政委員会 委員

未来都市創造に関する特別委員会 委員



こども家庭局 令和6年9月27日

坊池 正

ぼういけただし

自民党

www.jimin-kobe.com

市政報告

発行 自由民主党神戸市議員団・無所属の会
神戸市中央区加納町 6-5-1
TEL 078-322-5846

2025/1
(西区版)

ご挨拶

新春のお喜びを申し上げます。令和6年度の市会では、微弱ですが私の指摘や要望により事案が見直しされ、より良い市民サービスを提供できるものになりました。

まずは、神戸市の全児童館にて、18歳未満のすべての子どもと親が利用できる「子育ての相談」「子育てチーフアドバイザー」「中高生の居場所」などが区役所だけでなく、西区19か所の児童館に設置され、より身近なサービスとなりました。現在、児童館実施プログラムの情報発信整備を要望しております。

また、今年は阪神淡路大震災30年目を迎え、昨年の能登半島地震での反省を踏まえ、初動救助活動、物資輸送に関して、現在、全市を挙げて総点検を行っているところですが、災害発生時から一週間は「市民備蓄」が重要となり、「日頃からの蓄え」を再確認して頂きたいと思っております。

次に救急時での「#7119」救急安心センターの認知度、使用頻度が高まり、一時コロナ禍で回線が繋がり難いことが御座いましたが、回線、人員を増やし繁忙期でも対応できる環境に整え、不適切な受診案内を防止するために、わかりやすく安全安心な案内ができるように案内を改正しました。

最後に、近年重要視されるリハビリですが、病院から病院、そして自宅でのリハビリ情報が途切れることにより、一貫したリハビリが出来ないため、リアルタイム共有できるシステムの構築や、要介護者等でない方でも使用できるリハビリジム、心疾患・呼吸器疾患専門のリハビリ病院を開院し、民間ではなかなかできない事を試行錯誤しながら試験的に進めております。

この度の市政報告は、以上の内容でございますが、ご一読して頂けたら幸いです。

神戸市議員 坊池 正

「子育てチーフアドバイザー」配置
児童館 全館で子育て相談が出来る！

Q 坊池 正 (こども家庭局) 令和6年9月27日

児童館「こどもっとひろば」は、月曜日から土曜日の午前9時30分から午後5時まで開館しており、0歳から18歳までの子どもや保護者が自由に利用でき、身近な地域にある施設で、市内全域に120館ある児童館は本市の子ども・子育て施策の強みであると考えております。

令和5年度から児童館の特性を生かした事業を試行的に実施し、さらなる活用に取り組んで頂いておりますが、その中でも、来館者が常時「子育て相談」ができる体制を、今年度より乳幼児親子の子育て支援を主な業務とする常勤の「子育てチーフアドバイザー」を全館に配置したとのことでありまして、その活動は配置の目的に沿ったものとなっているのかお伺いをいたします。

A 中山こども家庭局長

家庭や地域で、孤立した育児、不安や悩みを抱えている家庭も増え、支援強化が求められ、令和6年度に全館に子育てチーフアドバイザーを配置しました。子育てチーフアドバイザーは、乳幼児や保護者のニーズや関心に応じたプログラムを企画・実施をし、児童館に気軽に足を運んでもらう中で、保護者が困り事や悩みを相談しやすい関係づくりを進め、相談内容に応じてアドバイスや子育て支援情報を提供し、仲間づくりをサポートするとともに、必要に応じて区役所や保健師、歯科衛生士、保育士などと連携を

したプログラムなども実施をしているところでございます。

配置して半年余りですが、これまでに3,000件近くの相談がございました。

利用者アンケートでは、チーフアドバイザーが児童館に
ことで見守りを身近に感じられ安心感がある、区役所に行かなく
ても相談ができる、乳幼児向けのプログラムが充実し、利用できる
日も増えたと、好意的な意見を頂いております。来館者につきましても、8月末時点でございますけれども、昨年末と比較しまして16%増加をしております、目的に沿った活動が行えているのではないかと考えております。

こどもっとひろば【児童館】

0歳から18歳まで使える親子で遊べる施設です!!

開館 AM9:30 ~ PM17:00 (日曜・祝日・年末年始を除く)



西区の「こどもっとひろば」

秋葉台児童館	岩岡児童館	神出児童館	櫛谷児童館
有瀬児童館	枝吉児童館	太山寺児童館	平野児童館
伊川谷児童館	押部谷児童館	竹の台児童館	美賀多台児童館
井吹台児童館	春日台児童館	玉津児童館	あさひ児童館
井吹西児童館	狩場台児童館	玉津北児童館	

能登半島地震を踏まえ 大災害への備えは大丈夫か？

Q 坊池 正（一般質問）令和 6 年 3 月 26 日

能登半島での災害は、国も含め、地震に対する初動救助活動や物資輸送は十分に行えていなかったと感じています。

神戸でも同様の事態が起こり得る可能性は十分にありますが、どのような課題があると考えておられるのか。

また死を分ける「72時間の壁」に対応するには、道路の寸断なども想定した上で、緊急消防援助隊（救助チーム）と災害派遣チーム（医療機関）、DMATなどの医療チームの連携体制、構築が重要ではないかと考えますがいかがでしょうか。

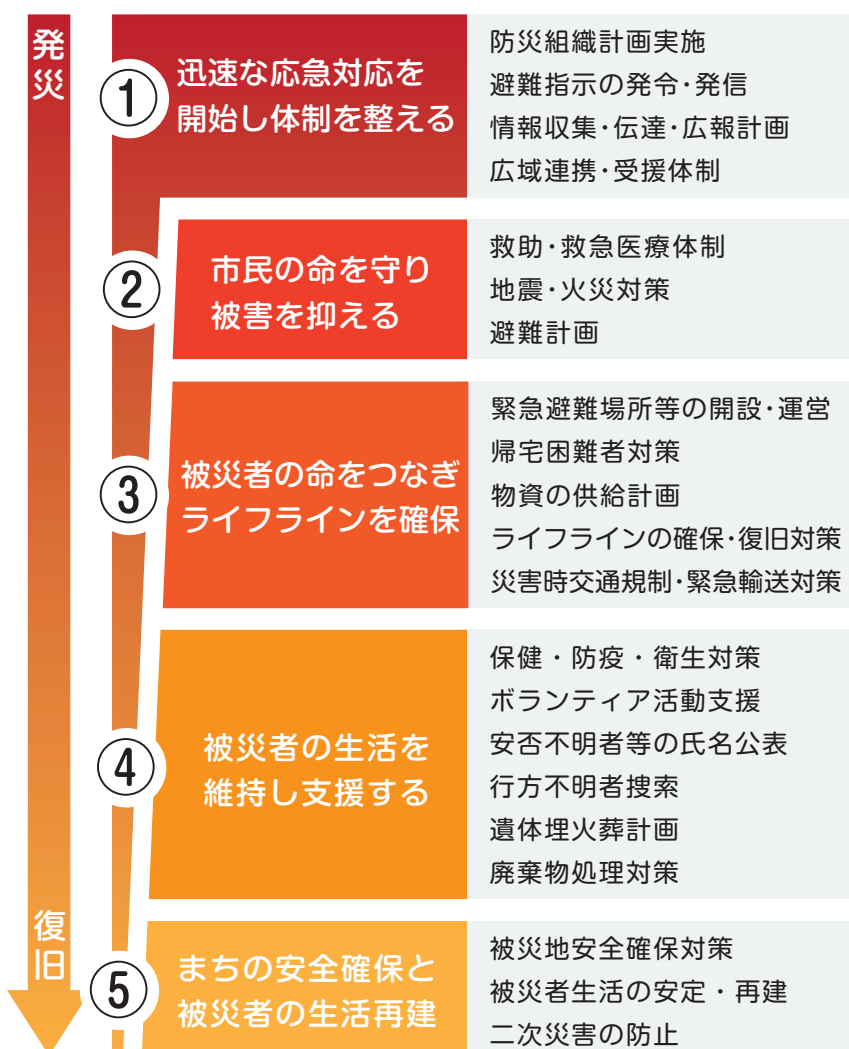
A 久元市長

能登半島地震地域の課題について神戸市では、初動期における物資輸送や備蓄体制、国や他の自治体からの受援体制、要援護者対策や民間企業の活用、実効性の確保を図るべく神戸市全体を挙げて総点検を行うこととしております。

令和 6 年度、若手の職員を中心に、大規模災害の対応を学ぶ図上訓練を実施し、その上で全職員を対象に、勤務時間外に南海トラフ地震が発生したことを想定した実動訓練を実施し、職員の初動体制が機能するかどうか確認・検証を考えております。

また、72時間の壁に関しては、災害派遣チーム（医療機関）と緊急消防援助隊（救助チーム）とは日頃より研修や訓練で連携を図っておりまして、有事の際には速やかな連携活動が行えるように取り組んでおります。

神戸市 地震・津波対策 主な応急対策事項 発災後～72 時間以内



災害時 20 万人 / 3 日間を想定した備え 神戸市の災害備蓄体制は大丈夫か ! ?

Q 坊池 正（一般質問）令和 6 年 3 月 26 日

阪神・淡路大震災の際には、西区、北区から各区へ白菜・ニンジンなどの野菜や米の供給、また簡易水道の水をミキサー車で運搬するなどの工夫もされていました。大規模災害時には食料や飲料水などの迅速な供給も非常に重要であり、29 年前のような体制が現在も確保できているのか。

神戸市地域防災計画では、災害時 約 20 万人を想定した備えを、指定業者等からの流通備蓄等により総合的な備蓄体制を確立し、災害発生後の 3 日間の食料を確保するとされていますが、より盤石な供給体制を強化・構築することが重要であると考えます。J A 等とのさらなる連携も含め、具体的にどのような緊急時の食料等の供給を予定されているのか伺います。

A 今西副市長

神戸市の災害備蓄体制は、①市民による非常持ち出し品・非常備蓄品による市民備蓄、②市内の避難所や各備蓄拠点での現物備蓄、③協定締結している指定事業者等からの流通備蓄、④国や他の地方公共団体等からの救援物資の 4 点による総合的な備蓄体制を確立し、災害発生後の 3 日間の食料などを確保しています。

本市の現物備蓄は、調理不要で食べられるリゾットやクッキーを含めた食料など、小・中学校などの避難所 市内 318 か所の地域備蓄拠点と大規模に集中して備蓄する市内 14 か所の総合備蓄拠点に保管し、必要とする被災者に対してスムーズに提供できるようにしているところです。

阪神・淡路大震災では、協定締結していたコープこうべから被災初日より食料・物資を調達することができました。現在は、スーパーマーケット、百貨店、コンビニエンスストア、食料品メーカーなど各種企業との協定締結をしております。

備蓄拠点や集積配送拠点から避難所などへの物資輸送は、33 社と協定締結しており、また、救援物資が集積拠点から各避難所に届かないラストワンマイルの課題が生じないように配送訓練の実施を行っております。

御指摘の J A との連携は、平成 12 年に協定を締結し、市民に対する食料供給のための精米等の提供をお願いしています。今後も引き続き必要に応じた流通備蓄の協定締結を進め、平時から協定締結企業と顔の見える関係づくりに努め、災害時の円滑な食料などの供給に取り組んで参りたい。

災害時 3日間

約 20 万人を想定した備蓄とは

	1 日目	2 日目	3 日目
① 市民備蓄	5	5	5
② 現物備蓄	10	5	
③ 流通備蓄	5	10	5
④ 救援物資			10
計 (万人部)	20	20	20

市民備蓄 市民による非常持ち出し品、非常備蓄品の準備

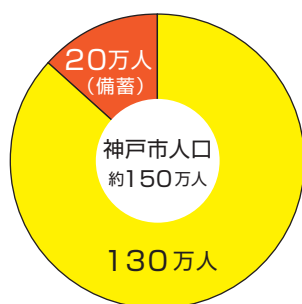
現物備蓄 市内の各備蓄拠点における備蓄 (15 万人分)

地域備蓄拠点 小・中学校、避難所 市内 318 か所

総合備蓄拠点 大規模に集中して備蓄する市内 14 か所

流通備蓄 災害時協定を締結している指定業者等からの備蓄

救援物資 国や他の自治体等からの物資 (3 日目からの想定)



神戸市人口 約 150 万人に 対し備蓄は 20 万人分 !?

阪神淡路大震災時 被災者 23 万人を基
に 20 万人の備蓄を想定しています。

現在、神戸市全体を
挙げて総点検中です！

発災後 3 日分の備えとは

市民備蓄 水 + 熱源 + 9 食

最低 3 日 ~ 7 日間の備えを！



発災後は、3日に限らず1週間程度は、電気、ガス、水道といった
ライフラインが停止する可能性があるため、まず、1 週間分の
水とカセットコンロ等の熱源を確保すると良いでしょう。

最低 3 日分 (9 食分) の確保を！



発災直後は、交通網の寸断等により、行政からの公的物資等の
配給が3日以上到着しないことが想定されるため、最低でも
3 日分 (9 食分) の食料品は確保するよう心がけましょう。

自分・家族構成に合った備蓄を簡単チェック！

「災害に備えた備蓄」と聞いて
も何をどのくらい備蓄すれば
良いか分からない方に向けて、
備えておくと良い品目などを
ご紹介するサイトです。

東京 備蓄ナビ

簡単な入力が必要
な備蓄品と数量が
分かります！

東京備蓄ナビ
(参考サイト)



病気やケガの症状を把握し

「#7119」適切な案内ができていますか？

Q 坊池 正 (健康局) 令和 6 年 2 月 26 日

平成 29 年から開設された「#7119」救急安心センターは、
電話口で医師、看護師、相談員がお話を伺い、病気やケガの症状を
把握して、救急車を呼んだ方がいいか、急いで病院を受診した方
がいいか、受診できる医療機関はどこか等の案内を行っておりま
す。導入効果は「市民の安心」、「救急医療機関」、「119 緊急通報・
消防」の負担軽減の機能を果たし、「119」では実質「緊急通報・
消防」のみになっております。

令和 4 年度は、受信件数が過去最多の 13 万件となりました。
令和 3 年度比で 1.4 倍、非常時の電話応答率は 95%以上ですが、
令和 4 年度の一部 70%台まで低下したと聞いています。今後も
右肩上がりで件数が増えていく可能性が高く、芦屋市に続き、
令和 6 年 1 月より姫路市も対象エリア拡大による影響を踏まえ、
設備面の拡充や配置人員の増強等必要であると考えます。

また、ソフト面において利用者が市内医療機関において
「#7119」で案内した内容が適切に行われているか伺います。

A 花田健康局長

「#7119」救急安心センターは、令和 4 年の夏は、コロナの
第 7 波により、「コロナの専門相談のダイヤル」がオーバーフロー
し、#7119 にも市外も含めてたくさんかかってきたので、応答
率が 70%台まで下がりました。

そのため、令和 4 年の秋から自動音声ガイダンスを導入し、
応答率が 95%以上に回復いたしました。また、今年度から入電件
数の増加に応じてコールセンターを、約 4 倍以上の広さを持つス
ペースに移転、システムも更新し、回線数も 7 回線から 12 回線
に拡充、年末年始などの繁忙期には平常時の 2 倍以上の人員強化が
可能となりました。最大 48 回線まで広げられるような状況です。

坊池議員の御指摘のとおり、芦屋市、今年から姫路市も参入、
引き続き入電件数の状況も見ながら、相談の支障が出ないように
努めていきたい。

また、#7119 案内のうち 8 割は適切であったというふうに
医療機関からの評価を頂き、残り 2 割は、要検討、少し検討と
ご意見を頂いております。今後、救急需要の増加に対応すべく、
適切な運用に努めて、救急需要の逼迫の改善に少しでもつなげて
いきたいと考えております。

令和 6 年 9 月見直しにより安心に

受診すべき時間の目安

赤	緊急	今すぐ救急車 (特に緊急度が高い場合は 119 転送)
橙	準緊急	2 時間以内を目安に受診 (救急車以外)
黄	低緊急	(平日日中) 本日診療時間内に受診 (休日夜間) 翌日早めに受診
緑	非緊急	数日中に受診
白	受診の必要性なし	

市民に判りやすい
表現になりました！

Q 坊池 正（健康局）令和 6 年 2 月 28 日

令和 4 年 1 月にキュア神戸が設立され、約 2 年経過しますが、
キュア神戸の現状と今後目指している方向性などお聞きします。

A 花田健康局長

中央市民病院の臨床研究で、継続したリハビリは、再入院の
リスクが半減するという研究データが出ております。

一方で、リハビリ体制で全国的な課題が 2 点あります。

1 点目は病院間から自宅までのリハビリ接続です。急性期病
院、回復期病院、自宅に帰ってからのリハビリ情報共有は行って
いますが、それぞれがぶつ切りになっている。それを一気通貫さ
せる必要があるということ。

2 点目は、高齢者の心疾患、呼吸器疾患などの内部障害が非常
に増えておりますが、これらのリハビリに対応できるようなスタ
ッフや受け入れ病院がないということです。この 2 つの課題解決
のため、キュア神戸では、試行的な取組を実施しております。

Q 坊池 正（健康局）令和 6 年 2 月 28 日

退院後もリハビリを続けたい方を対象に、デイケアとジムの
要素が両方入っているようなリハビリテーションセンターがご
ざいます。利用者の 7 割が介護認定の要支援者となっております。

超高齢化社会を迎え、運動や筋トレだけでなく、リハビリがで
きるジムが増えてくればニーズは高いと考えるます。そういった観
点で、今年度予算に上がっている「健康ライフプラザ」を活用した
運動支援事業は、どのような人を対象に、どのような事業を展開
するのかお伺いいたします。

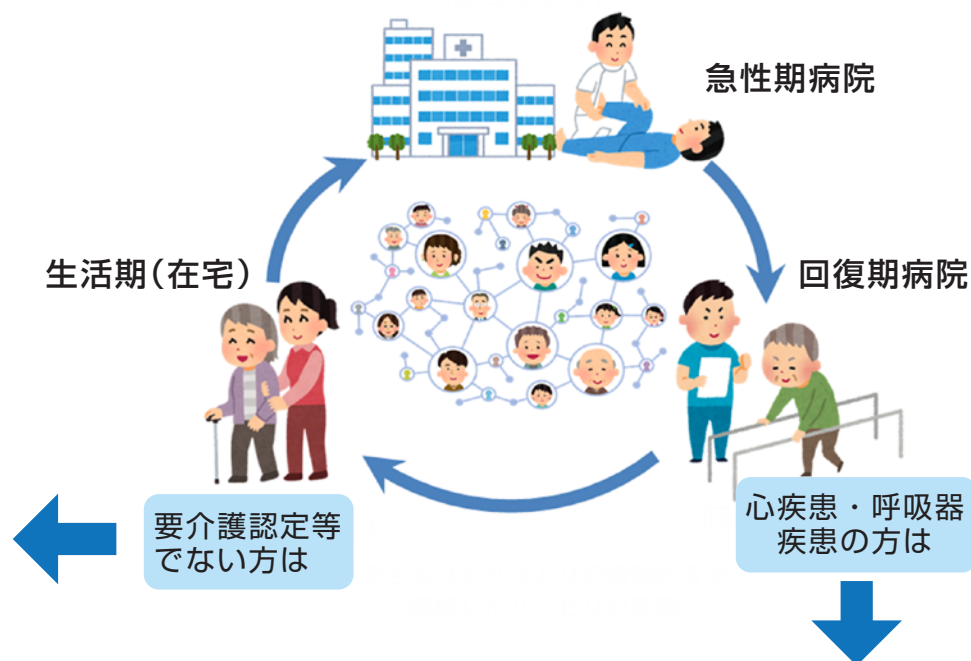
A 花田健康局長

医療的なリハビリは終わっているが、要介護認定等でない場合
には、介護保険制度の対象にはならないために、リハビリサービス
等も受けられない。そのため、本人自らが適切な運動に取り組む
ことが必要となりますが、精神的な不安から、なかなか御自身で
適切な運動を継続することは難しいと聞いております。

「健康ライフプラザ」では、市民病院 3 病院の心疾患・呼吸器患
者などの内部障害の患者の内に、要介護・要支援認定を受けてい
ない方を対象に、ドクターが個人ごとに運動処方を発行し、1 人
当たり 6 か月間、「健康ライフプラザ」にて運動支援を試験的に
実施したいと考えております。



患者情報をリアルタイムで共有し
継続したリハビリの実現へ



神戸リハビリテーション病院(しあわせの村内)
心疾患 / 呼吸器疾患専門リハビリ病院

Q 坊池 正（健康局）令和 6 年 2 月 28 日

しあわせの村内にございます「神戸リハビリテーション病院」
ですが、新たなリハビリニーズへの対応など先駆的な取組を行う
など、民間病院ではなかなか難しいところを公的にカバーし、
そのモデルになる必要があると考えますが、いかがでしょうか。

A 花田健康局長

「神戸リハビリテーション病院」は、県内最大の回復期リハビリ
テーション病棟で 180 床ございます。

医療費点数が低い等で民間病院の方で実施していただけない
「心疾患」「呼吸器疾患」の内部患者が増加していることを受けて、
心臓リハビリを、令和 4 年度から本格実施をし、同じように民間
受入れの進んでない「慢性呼吸器疾患」患者のリハビリも本格的
に始めたところでございます。今後、公的病院として民間病院の
モデルになるように、先行してこのような民間ができないところ
の医療、リハビリに積極的に取り組んで、民間病院ができるス
キームをつくっていき、積極的な役割を果たしていきたいと考
えております。

